

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育総務費	54,751千円	53,386千円
担当課決算額				54,751千円	53,386千円

- 人件費 44,632千円 一般職 7人
- 男女共同参画推進事業 460千円
 - ・男女共同参画関係啓発活動 122千円
 男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等の啓発活動を展開しました。
 男女共同参画講演会(地区公民館と連携しての講演会)

5月23日	安田小学校会場	参加者 50名
6月14日	カウベルホール会場	参加者 68名
6月16日	まなびタウン会場	参加者 65名
6月20日	成美地区公民館会場	参加者 50名
6月26日	赤碓地区公民館会場	参加者 31名
7月5日	以西地区公民館会場	参加者 24名

 男女共同参画講座

3月5・12日	人口減少時代の持続可能なまちづくり	参加者 のべ52名
---------	-------------------	-----------

 また、北栄町・湯梨浜町と3町合同で、男女共同参画啓発TCCミニドラマ「十人十色物語～笑顔で認めあつて、～」を企画、6月の男女共同参画週間に5日間に渡り放送しました。
 - ・女性研修委託事業 208千円
 女性の社会参加促進と、学習活動を通じた男女共同参画社会の形成促進のため、町女性団体連絡協議会に研修事業開催を委託して行いました。

10月19日	女性のつどい	参加者208名
--------	--------	---------
 - ・琴浦町男女共同参画推進会議 130千円
 男女共同参画社会の実現に向けて、研修会開催等の会が行う活動に補助を行いました。
 主な事業

11月8日	琴浦町男女共同参画フォーラム	参加者 87名
10月26日～28日	日本女性会議参加	参加者 6名

 「成果」 広い地域・内容・世代を対象とした啓発・学習活動を行うことができました。
 「課題」 男女共同参画については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。
- 社会教育振興 3,569千円
 社会教育関係団体へ財政支援、情報提供等を行い、地域住民による自主学習活動を推進し社会教育団体を育成しました。
 社会教育委員会 委員10人 9月30日、3月26日開催
 社会教育関係団体財政支援

負担金:	県社会教育協議会負担金
	県社会教育委員連絡協議会負担金
	郡社会教育協議会負担金
	県子ども会連合会負担金
補助金:	町連合婦人会補助金
	町青年団補助金
	PTA連合協議会補助金
	東伯・赤碓文化協会補助金
	青少年健全育成協議会補助金

 「成果」 社会教育関係者や、社会教育団体の育成を図ることができました。
 「課題」 生涯学習への幅広い参加を進めるためのきっかけとなる仕組みづくりが課題です。

○生涯学習センター展示事業

各種グループの町民作品展では、活動者の発表の場を提供し、来場者へ芸術文化に触れてもらうとともに創作意欲の向上や新規活動者の獲得を図り、芸術文化の振興を行いました。

- ・寿大学園芸コース作品展(5月11日～12日)
- ・琴浦町俳句展(5月8日～13日)
- ・カブトムシ展(7月3日～8月2日)
- ・絵手紙サークル作品展(毎月第3土曜日から1週間程度)
- ・寿大学表具コース作品展(5月10日～13日)
- ・竹細工教室作品展(6月22日～27日)
- ・かずらで籠を編む同好会作品展(6月22日～27日)
- ・おしゃべりサロン作品展(6月22日～27日)
- ・パッチワーク作品展(11月22日～25日)

「成果」多くの来場者に芸術に触れる機会を提供すると共に、活動団体育成ができました。

「課題」文化芸術活動の活性化と新規活動者を増やすため、展示事業の周知に努めます。

○寿大学 71千円

高齢者が自ら意欲を持って、生きがいを見出せるように各種講座の実施、趣味活動を通じた仲間づくりを図りました。

一般教養コース 年10回

各種専門コース コースにより週1回～月1回

学級生 253名

「成果」歴史コースが専門コースに新しく追加され、ますます充実したものとなりました。

「課題」多様化する学習ニーズに対応するために事業内容の充実が必要です。

○青少年育成啓発事業 720千円

少年育成員を設置し、青少年の非行防止・健全育成を図るための活動を行いました。

少年育成員20名、夜間街頭指導:通年30回

中学生を対象にジュニアリーダー養成講座を開催し、地域活動への参加を図りました。

年間1回開催 延べ2人参加

子ども会のリーダー・育成者を対象に子ども会活動のあり方について研修を行いました。

3月16日(日)赤碕地域コミュニティセンター、3月23日(土)まなびタウンとうはく

参加者数:子ども 69名、大人 38名

「成果」幅広い住民参加・参画を得ながら、青少年の健全な育成を図ることができました。

「課題」青少年の課題は多岐に渡るため、関係機関協力体制の深化・改善によるより効果的な啓発事業展開が課題です。

○10秒の愛推進事業 282千円

10秒の愛実行委員と連携し、フォーラム等の10秒の愛啓発活動を展開しました。

2月16日 10秒の愛フォーラム(まなびタウンとうはく)参加者数:173名

「成果」あらゆる世代を対象とした10秒の愛啓発を行うことができました。

「課題」10秒の愛については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。

○青少年体験学習事業 1,394千円

ことうら子どもパーク運営委員会に、ものづくり等体験教室「ことうら子どもパーク」開催を実施委託し、地域住民の手による子どもたちのものづくり体験活動の推進を図りました。

40回開催(草木染め、郷土料理、七宝焼き、フラワーアレンジメント等)

参加者数 延べ446名

「成果」地域の方の参画を経て、子ども達と地域の方の親睦を図れました。

「課題」教室内容の充実のため、新たな人材の発掘を進めて行く必要があります。

- 生活体験学校実施事業 671千円
放課後・週末に地域住民の参画を得て放課後・週末を利用した学習・体験活動を実施しました
放課後子ども教室 79回
参加者延べ 1,548名
「成果」 地域の方の協力を経て、放課後・週末における、子どもの居場所づくりを図りました。
「課題」 学校統合に伴い、平成26年度からは会場変更等を行う取組みがあり、より多くの地域住民協力体制の構築等が課題となっています。
- 文化活動事業 268千円
地域で活動する個人・団体等文化人のみなさんの日頃の活動成果を発表する文化の祭典、文化祭を開催した。
実施日:11月2日(土)～4日(月)
会場:総合体育館
入場者数:約1,500名
町内芸能団体による芸能発表会を開催し、文化芸術の振興と団体間の交流を図りました。
実施日:11月24日(日)
会 場:カウベルホール
入場者延べ425名
新たな文化活動者の確保及び団体活動の活性化を目的として、体験講座を開催しました。
文化活動体験講座開催団体 4団体 参加者延べ53名
「成果」 町内文化芸能団体の出演者数及び入場者数は昨年より増加傾向にあり、一層の活動推進を図ることができました。
「課題」 町内の文化芸能団体及び文化団体とも、引き続き、新たな後継者加入対策を図るため、新たに創設した「文化活動体験講座開催事業」の実施が必要です。
- まなびタウンとうはくPC教室実施事業 188千円
情報化時代に対応するため、まなびタウンとうはくを会場にしたパソコン使用法基礎講習を開催し、町民のパソコン技術等の向上を図りました。
実施回数 3講座、6回
参加人数 延べ 41人
「成果」 3講座を開催し、パソコン技術の向上を図りました。参加者数も一定数を越えました。
「課題」 開始当時と比べ、民間の教室が増えたことやパソコンに代わる操作の簡単なツールの登場により、事業の必要性を検討し平成25年度をもって事業終了としました。
- 家庭教育支援推進事業195千円
家庭教育講座、乳幼児学級を開催し、子育てについての理解を深めました。
実施回数 10回(家庭教育講座)
参加者人数 延べ 204名(家庭教育講座)
「成果」 多くの参加者に、家庭教育の重要性を啓発できました。
「課題」 講座に参加していない人達に家庭教育の大切さをどう伝えていくか。
- 無盡庵管理 192千円
高齢者同士の交流、地域交流の場として提供するため、管理運営を行った。
「成果」 使用者の皆さまに事故なく場を提供したほか、施設の維持管理経費を削減した。
「課題」 建物自体を国の有形文化財登録など、活用方法の検討が必要。
- 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 744千円
スクールガードリーダー 2名
巡回指導 293時間
「成果」 通学路を中心とした子ども達の安全を確保できました。
「課題」 パトロール活動実施のPR等により、見守り活動の必要性啓発を推進することが必要。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	2 公民館費	43,115千円	42,821千円
担当課決算額				43,115千円	42,821千円

○公民館費 42,821千円

地域の特色を生かした学習活動の推進と住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。また、幅広く公民館活動を展開し、町民の公民館利用促進を図りました。

各公民館の利用状況

区 分	青少年団体		成人団体		女性団体		高齢者団体		その他団体		合 計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
八橋地区公	150	2,979	128	2,910	321	3,022	32	563	10	1,761	641	11,235
浦安地区公	95	1,278	305	3,337	14	184	171	1,965			585	6,764
下郷地区公	17	687	108	1,991	29	262	86	616			240	3,556
上郷地区公	55	359			8	125	50	486	83	1,289	196	2,259
古布庄地区公			80	1,602	38	280	68	622			186	2,504
赤碕地区公	80	1,245	99	1,810	285	2,375	159	2,359			623	7,789
成美地区公	53	790	108	1,868	48	385	55	525	97	1,720	361	5,288
安田地区公	6	138	113	1,892	146	1,273	119	1,263			384	4,566
以西地区公	130	1,319	32	400	61	422	65	722	40	771	328	3,634
	586	8,795	973	15,810	950	8,328	805	9,121	230	5,541	3,544	47,595

「成果」身近な学習拠点として、地域学習活動の推進と学習を通じたコミュニティ形成を図りました
また、公民館事業への必要課題反映度を高めるため、関係者の研修を推進しました。

「課題」各種事業への地域課題等必要課題反映度の向上と、要求課題とのマッチングへの工夫、
住民自らが学習活動を行う機運づくりの推進等、さらに工夫していく必要があります。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	3 文化財保護費	6,175千円	5,596千円
担当課決算額				6,175千円	5,596千円

○町内文化財保護事業 2,655千円

- ・町指定等文化財の管理に要した経費 333千円
- ・文化財防災設備事業補助金(河本家住宅、円応寺「四天王立像」、方見神社「隨身立像」) 864千円
- ・無形民俗文化財補助事業 60千円

県指定「三本杉の盆踊り」町指定「逢東盆踊り」「以西おどり」を後世に継承保存するため、各保存会に対して補助を行いました。また、県及び町の大会等に積極的に参加しました。

- ・古布庄の大スギ治療費補助金 82千円
- ・文化財建造物公開・活用促進事業補助金 500千円

国指定文化財河本家住宅の一般公開を実施する河本家保存会に対し補助を行いました。

一般公開日 4月29日(月)～ 5月4日(土) 入館者 314名
10月28日(月)～ 11月3日(日) 入館者 277名

- 民俗資料館管理 2,204千円
 歴史民俗資料を児童等の学習教材等に利用して歴史等の学習に役立てた。また、資料館の見学者への説明や資料の整理・保存等を行った。
 臨時職員賃金 1,921千円
 資料整理・保存 283千円
 ・はじめての古文書講座(図書館共催)
 教育委員会所蔵の古文書等を活用した、古文書解読の講座を開催した。
 開催日:11月9日、16日、23日、30日 受講者:17名
- 大高野遺跡保存・活用推進事業 737千円
 大高野遺跡の国史跡に向けて要した経費
 報告書等指導謝金 2名 40千円
 旅費等 212千円 (文化庁主任調査官ほか4名)
 報告書印刷製本費 299千円 大高野官衙遺跡 (伯耆国八橋郡衙正倉院跡)
 委託料 186千円
 「成果」 河本家一般公開や歴史民俗資料館企画展などを通じて、文化財の理解が深まりました。
 特別展では、国立博物館等から遺物を借用し、展示を行ったため、日頃、歴史に興味を持たない人にも来場してもらうきっかけとなった。
 「課題」 文化財や事業の積極的なPRが必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	4 埋蔵文化財発掘調査費	20,236千円	20,118千円
担当課決算額				20,236千円	20,118千円

- 町内遺跡発掘調査事業 3,839千円
 県道野添線改良工事及び県営梅田川改修事業に伴い、開発事業と文化財保護との調整を図るため、試掘調査を実施しまた、赤碕台場跡の内容確認のため、試掘調査を実施した。
 県道東伯野添線改良事業 1件(下伊勢第1遺跡)
 県道梅田川改修事業 1件(筥津第1遺跡)
 遺跡内容確認事業 1件(赤碕台場跡)
- 県道東伯野添線改修工事に係る埋蔵文化財発掘調査委託事業 16,279千円
 下伊勢第1遺跡 1,650㎡ 記録保存のための全面発掘調査
 「成果」 町内遺跡発掘調査では下伊勢第1遺跡で土坑1基、ピットを検出した。
 遺物は、弥生時代後期後葉の甕口縁部や土師器坏、甕、壺や須恵器甕、壺が出土している。
 筥津第1遺跡は、すでに掘削されおり、遺構は確認できなかったが、トレンチ内から須恵器甕、壺や土師器甕、壺が出土した。
 赤碕台場跡は、1本のトレンチを設定して調査した。5m以上の盛土がされていたが、底部付近から台場の段の跡と思われる黒褐色土層が確認できる。
 下伊勢第1遺跡は、溝状遺構30条、土坑3基を検出した。遺物は土師器坏、須恵器、坏、甕、壺などが出土している。
 「課題」 下伊勢第1遺跡(県道部分)は、試掘調査の結果、遺構が確認されていることから今後、事業者と文化財の取り扱いについて協議が必要となる。
 赤碕台場跡は、かなり深いことから段掘り等調査方法を考える必要がある。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	5 生涯学習センター運営費	28,227千円	27,967千円
担当課決算額				28,227千円	27,967千円

○生涯学習センター管理費 27,967 千円
生涯学習施設として、町民等に学習の場の提供と施設の維持管理を行いました。
生涯学習センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	109	169	166	188	167	171	200	149	118	139	122	131	1,829
延人数	2,679	4,052	3,666	7,058	4,167	3,169	5,483	5,749	2,910	3,181	3,031	2,872	48,017

「成果」 学習拠点として、幅広い研修の場として活用され、利用件数が増加しています。
「課題」 施設の効果的運用及び、長期的維持管理計画の検討が必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	6 図書館費	39,635千円	39,316千円
担当課決算額				39,635千円	39,316千円

○人件費 28,049千円
一般職 1人 嘱託 1人 臨時 10人 (本館 10人、分館 2人)

○琴浦町図書館図書等購入費 5,840千円
本館(移動図書館車含む)赤碓分館において、町民の利用に供するための図書等の資料を購入しました。

区分	本館	赤碓分館	計
図書等購入費	4,807千円	1,033千円	5,840千円
蔵書数	132,305冊	28,165冊	160,470冊
図書等資料貸出	95,815冊	19,714冊	115,529冊

開館日数 本館289日、赤碓分館290日

○琴浦町図書館活動費 5,427千円

○移動図書館車巡回
移動図書館車による地域への本の貸出サービスを行い、利用者の利便性を図りました。
保育園・子ども園・小学校等 18ヶ所 部落等 26ヶ所 福祉施設等 7ヶ所

「成果」暮らしに役立つ図書館を目指し、ふくろうのコレクションなどの企画展示を行ったり、寿大学と連携したはじめての古文書講座を開催したりするなど、文化活動を通じた図書館の活用を図りました。

「課題」図書館職員は、経験と司書資格のあることが大きく影響されるので、職員(正職員)の確保が必要です。
図書館を活用していただくためのサービスや情報発信が必要です。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	7 カウベルホール運営費	12,397千円	12,349千円
担当課決算額				12,397千円	12,349千円

○カウベルホール運営費 12,349千円
カウベルホールの維持管理と運営を行いました。

カウベルホール利用状況

	ホール		会議室		和室		計		収入(千円)
4月	7回	1,055名	6回	84名	3回	150名	16回	1,289名	185
5月	2回	165名	6回	153名	1回	15名	9回	333名	51
6月	7回	1,510名	4回	142名			11回	1,652名	113
7月	7回	1,800名	6回	332名			13回	2,132名	170
8月	6回	514名	3回	222名	1回	200名	10回	936名	101
9月	3回	435名	2回	22名	1回	250名	6回	707名	68
10月	17回	3,098名	4回	82名			21回	3,180名	155
11月	9回	2,520名	4回	72名			13回	2,592名	54
12月	9回	1,195名	3回	32名			12回	1,227名	200
1月	4回	1,124名	5回	590名	2回	350名	11回	2,064名	9
2月	6回	1,075名	2回	80名			8回	1,155名	66
3月	7回	1,455名	2回	35名			9回	1,490名	303
合計	84回	15,946名	47回	1,846名	8回	965名	139回	18,757名	1,475

款	9 教育費	項	5 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	1 保健体育総務費	32,300千円	31,845千円
担当課決算額				32,300千円	31,845千円

○人件費 21,233千円
一般職 3人
○一般管理 10,612千円
社会体育に関する一般的な管理運営を行いました。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	2 体育振興費	11,993千円	11,602千円
担当課決算額				11,993千円	11,602千円

○社会体育指導及び推進 2,011千円

心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進員の研修・活動を推進した。

- ・スポーツ推進員(27人)
- ・研修会
 - 琴浦町スポーツ推進員会定例会(琴浦町) 毎月(年12回)
 - 中国地区スポーツ推進員研修会(広島県) 6月8・9日 参加者 13名
 - 全国スポーツ推進員研究協議会(和歌山県) 11月21・22日 参加者 8名
 - 東伯郡スポーツ推進員研究大会(三朝町) 1月11・12日 参加者 20名
- ・スポーツ推進委員会主催事業
 - 体力づくり教室(ストレッチ体操、バンスボール、ラージボール卓球)
 - 9月19日～10月17日 毎週木曜日 5回 参加者 54人(2会場)
 - 町民体力づくりウォーキング(船上山登山コース)
 - 11月3日(日)文化の日 参加者 46人
 - 体力づくりスポレク祭(スポンジテニス、バウンスボール)
 - 2月16日(日) 参加者 100人
- ・その他
 - 各地区公民館・町主催イベント・町内外駅伝大会・各種体操指導・小学校親子会等の事業協力を行った。

「成果」心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進員の研修を町内外で行い、研修成果を生かした依頼団体に合わせた指導・活動を行い好評であった。

「課題」子どもから高齢者まで、幅広くそのニーズに合った健康づくりとあわせた生涯スポーツ等を指導できるよう研修する必要がある。

担当制を取り入れるなどして、出席委員が同じ顔ぶれとならないように努める。

○郡・県・全国大会選手派遣 5,026千円

郡民体育大会、県スポーツ・レクリエーション祭、全国大会に参加する町代表選手の参加補助を行った。

- ・郡民体育大会 参加者 1,363人(大人829人・子ども534人)
- ・県スポーツ・レクリエーション祭 参加者 102人(大人)
- ・各種全国大会 参加者 82人

「成果」郡民体育大会において、常日頃の練習の成果として、男女総合優勝2連覇を果たす事ができた。

「課題」今後に向け各年齢層の強化育成が必要とされる。

○町体育協会育成及び各部奨励 2,405千円

体育協会の主催する各種スポーツ大会及び教室活動を支援し、より一層のスポーツ振興を図りました。

・町体育協会事業

事業名	開催日	参加人数
春季ゴルフ大会	4月 7日	63人
春らんまんソフトバレー大会	4月 7日	28チーム
体協グラウンドゴルフ東伯大会	5月 6日	28チーム
春季ゲートボール大会	5月 27日	17人
体協グラウンドゴルフ赤碕大会	5月8日	18チーム
町長杯卓球大会	5月18・19日	65チーム
ナイター野球リーグ戦	5月25日～11月2日	17チーム
ミックスタブルステニス大会	5月19日	14人
スポーツ・レクリエーションin琴浦 (ソフトボール) (バドミントン) (ソフトテニス) (グラウンドゴルフ) (ペタンク) (ハウスポール講習&交流大会)	6月 2日	6チーム 11チーム 7チーム 40チーム 3チーム 17人
駅伝競走大会	9月22日	44チーム
秋季ソフトボール大会	9月29日	7チーム
秋季テニス大会	10月14日	16人
バスケットボール大会	10/17～01/20	17チーム
秋季ゲートボール大会	10月 18日	16人
秋季ゴルフ大会	10月27日	56人
総合バドミントン大会	11月17日	10チーム
銃剣道大会	11月23日	10人
剣道大会	12月 1日	40人
ソフトバレー大会	12月8日	31人
9人制バレーボール大会	12月 1日	6チーム
元旦マラソン&ウォーキング大会	1月 1日	289人
武道館鏡開き	1月 6日	約100人
新春フットサル大会	1月13日	21チーム
キッズサッカーフェスティバル	2月22日	10人
卓球大会	3月 2日	30チーム
柔道教室	4月13日～ 3月29日(毎週 土曜日)	11人
陸上教室	4月13日～ 3月23日(毎月 第2、4土曜日)	25人
水泳教室	6月14日～ 7月31日(毎週 月・水・金)	68人
ソフトテニス教室	8月17日～ 9月28日(毎週 土曜日)	14人
テニス教室	8月21日～ 10月9日(毎週 水曜日)	15人
スキー&スノーボード教室	1月18日	32人
キッズサッカースクール	2月22日	42人
小学生相撲教室	3月26日～ 4月23日(毎週 水曜日)	9人

「成果」 ・体育・スポーツ競技の功績をたたえ体育協会表彰を行うが、今年度は、高力裕也さん(アジア陸上選手権(インドプネー)やり投げ第10位)・高力秀幸さん(国体クライミング学校対抗戦優勝)・中嶋 望さん(国体・高校選抜相撲団体優勝)・谷本将也さん(国体相撲団体優勝)と一昨年の川中選手に続く成績で町民の大きな話題・力となった。

・体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興が図られた。

「課題」 各種大会に於いて、他行事等と重なり参加者の減少となった大会があった。開催時期等の検討が必要となっている。

・町スポーツ教室

第17回琴浦町スポーツ教室交流会(野球) 12月7日(土)

オリックス・バファローズの野球選手の塩崎 真氏(コーチ)、平井正史氏(投手)、縞田拓弥氏(内野手)を招き、野球教室を実施。プロ選手と交流の場を設け、子どもたちにスポーツ意欲を持たせ、技術力のアップやスポーツに対する姿勢などを学び、これからのスポーツ少年団・中学校部活動、また学校生活等多いに役に立つ場となった。

「成果」 元プロ野球選手と交流することにより、技術力のアップ・スポーツに対する姿勢などを学び、今後のスポーツ少年団活動、また学校生活等多いに役に立つ場となりました。

「課題」 招聘するプロ選手の競技種目に偏りがあるため、魅力ある講師の選考が必要となっている。

・駅伝大会参加

中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、それぞれ選手の皆さんの団結と練習成果により、それぞれ優秀な成績が残せました。

第67回中部地区駅伝競走大会 9月15日

市町の部 優勝(出場10チーム) 一般の部 第3位(出場4チーム)

第68回米子・鳥取間駅伝競走大会 11月9・10日

出場:郡市町村部11チーム 成績:郡市町村部 優勝(5連覇)

「成果」 中部地区駅伝・米子鳥取間駅伝と、それぞれ選手の皆さんの団結と練習成果により、それぞれ優秀な成績が残せました。

「課題」 選手の年齢層が高くなり、若年層の選手育成が課題となりつつあります。

○町民体力づくりウォーキング 29千円

町内の史跡等を巡り、ウォーキングによる体力づくり大会を計画・実施し、町民の体力向上と親睦を図りました。

町民体力づくりウォーキング(船上山登山コース)

11月3日(日)文化の日 参加者 46人

○スポーツ・レクリエーションの祭典 49千円

スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催することにより、ニュースポーツの紹介、普及を図り、町民の体力向上と親睦を進めました。

・スポーツ・レクリエーションin琴浦 6月2日(日) 参加者 74チーム

種目:バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール・ペタンク

バウンスボール講習&交流大会・ノルディック・ウォーキング講習会

・体力づくりスポレク祭 2月16日(日) 参加者 100人

種目:スポンジテニス・バウンスボール

「成果」 子どもから高齢者まで取組みやすいスポーツを選定し、町民の体力向上と親睦が図られました。

「課題」 参加者が固定しつつあるので、啓発活動・種目の見直し等検討が必要です。

○ガイナレ鳥取・琴浦町ホームタウンデー推進事業 133千円

ガイナレ鳥取ホームタウンゲームにおいて、町内から観戦者の動員を図るとともに、県内外から会場に訪れた観客に対し、琴浦町のPRを行った。

・ガイナレ鳥取 対 FC岐阜 観客 3,941人

○琴浦でアーチェリー推進事業 835千円

昨年ロンドンオリンピックに出場した川中香織里選手の活躍を機会に、アーチェリー競技を琴浦町で盛り上げようと、アーチェリー教室を開催した。

・参加者 9人

○スポーツ少年団育成強化 1,114千円

スポーツ少年団活動支援を通じて、少年団の心身ともに健全な育成を図りました。

団名	団員数	活動日
琴浦野球	35人	毎週 月・水・金
赤碕・安田野球	17人	毎週 月・水・金・土
以西成美野球	15人	毎週 水・土
八橋バレーボール	8人	毎週 火・木
浦安バレーボール	8人	毎週 月・木・土
東伯バレーボール	12人	毎週 火・金
古布庄バレーボール	7人	毎週 火・木・土
赤碕バレーボール	7人	毎週 火・木・土
安田バレーボール	9人	毎週 火・金
成美バレーボール	5人	毎週 火・金・土
以西バレーボール	12人	毎週 火・木・土
琴浦ミニバスケットボール	42人	毎週 月・水・土
東伯バドミントン	19人	毎週 火・木・金・土 [中学生]月
琴浦卓球	53人	毎週 [小学生]木・土 [中学生]火・木・土
東伯サッカー	52人	毎週 水・金
成美サッカー	29人	毎週 月・水・金
東伯剣道	16人	毎週 月・水・金
赤碕剣道	18人	毎週 月・水・金
琴浦空手	25人	毎週 月・水・金
琴浦相撲	1人	毎週 水

「成果」 体を動かす事の楽しみや、喜びを知り基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤となっています。

「課題」 スポーツを通じた心身の健全育成を図るため、保護者及び指導者と連携を強化することが必要となっている。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	最終予算額	決算額
		目	3 体育施設費	30,400千円	29,783千円
担当課決算額				30,400千円	29,783千円

○社会体育利用施設管理 234千円

町民が利用する、社会体育施設の維持管理を行いました。

(東伯総合公園・赤碕総合運動公園・農業者トレーニングセンターは除く)

○平岩記念会館管理運営 528千円

青少年が宿泊研修できるよう管理運営を行いました。

施設利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	192	62	282	130	172	730	40	174	182	137	93	59	2,253

○総合公園管理 13,422千円

東伯総合公園の維持管理を行いました。

施設利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3,828	3,261	5,318	3,647	3,519	4,525	4,208	4,450	2,749	1,342	2,356	2,565	41,768

○農業者トレーニングセンター運営 5,266千円

町民のスポーツの普及・振興・健康づくり事業の開催ならびに、施設の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,118	1,329	1,725	1,705	725	1,320	1,567	1,411	1,204	1,220	1,292	1,312	15,928

○赤碕総合運動公園運営 9,535千円

赤碕総合運動公園の維持管理を行いました。

施設利用状況 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	517	1,112	2,058	820	1,067	1,169	1,324	562	24	—	—	376	9,029

※12月～2月は休園

○勤労者体育センター管理運営事業 798千円

勤労者体育センターの適切な管理運営を行い、利用者の健康増進を図りました。

施設利用状況(赤碕) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	242	526	370	177	366	339	513	426	444	309	462	324	4,498

施設利用状況(東伯) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	858	1,295	877	1,964	0	255	1,049	1,575	1,603	901	947	825	12,149

「成果」 スポーツ施設の拠点として、町内外の利用者に喜ばれるよう維持管理を行いました。

- ・各施設(総合体育館・農業者トレーニングセンター)体力づくり教室から、自主グループもでき、体力づくりの和が広がっている。

「課題」 各施設の老朽化により、修繕箇所も多くなり、施設管理が増加しています。

款	2 総務費	項	7 元気臨時交付金事業費	最終予算額	決算額
		目	1 地域の元気臨時交付金事業(繰越明許)	139,596,300円	134,107,575円
担当課決算額				45,714,200円	45,141,075円

○琴浦でアーチェリー推進事業6,199,200円

東伯総合公園アーチェリー倉庫新設工事費 6,199,200円

○総合公園管理事業 18,284,175円

総合体育館事務所屋根改修委託料 682,500円
 " 工事費 13,843,200円
 東伯総合公園北進入路整備工事費 329,175円
 総合体育館ステージ格納庫扉修繕工事費 1,696,800円
 東伯総合公園遊具他解体工事費 1,732,500円

○勤労者体育センター管理運営事業 20,657,700円

赤碕勤労者体育センター屋根改修工事管理委託料 189,000円
 " 工事費 7,103,250円
 東伯勤労者体育センター大規模改修工事管理委託料 294,000円
 " 工事費 13,071,450円

「成果」 生涯スポーツ振興及び健康づくりを進めるため、各種施設の整備促進が図られた。